4.5.27（金）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

小論文試験①

（解答は解答用紙に記載すること）

（試験時間 60分）

「ＡＩ（人工知能）」について、下記の内容を確認し、ＡＩ技術の進展に伴い生起すると考えられる課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

ＡＩ（Artificial Intelligence）とは、記憶や学習、推論、判断、言語の理解といった人間の知的な活動をコンピューターに実行させる研究や技術のことを指す。最近では、人間の脳をモデルにし、自ら学習を繰り返す「ディープラーニング」という技術が実現したことで、大量のデータから共通する情報を探し出すなど、人間の経験や学習をはるかに超えるデータ量を処理できるようになり、ＡＩの性能は飛躍的に進展した。自動車の自動運転や病気の診断などにＡＩを活用した技術が導入される等実用化も進んでいる。

ディープラーニング：人間と同じように、情報を判断するための基準を自分で探し、その基準に沿って今後の動向や傾向を予測・判断する技術

【ＡＩ（人工知能）の導入による業務の効率化事例】

導入目的	導入事例	導入効果
業務の自動化	ウェブのデータなどからレポートを自動的に作成	○ 作業時間の短縮、一人当たりの処理量の向上 ○ 熟練者のノウハウ継承 ○ 人間の正確さを超えた処理（画像認識の正確性等）
	手書きされたものをデジタル処理できるものに変換	
	パターン化されている仕事を自動的に実施	
	保育園への入園の割り当てを自動化	
	記事、議事録等の自動作成	
	画像認識による自動ピッキング、品質管理	
	チャットボットによる自動応答	
	与信審査の自動化	
	アンケートの自動振り分け	
可視化・分析	ウェブサイトの訪問者数などを分析しサイトを改善する方法を提案	○ 作業時間の短縮、一人当たりの処理量の向上 ○ 人間の正確さを超えた予測（需要予測等） ○ 人間が扱えない大量のデータ（ビッグデータ）の処理
	財務データなどから経営分析を自動的に実施し最適な方法を提案	
	天気予報データやネット情報からコンビニなどの来店者予測を実施	
	画像診断	
	大量の文書を自動的に分析（電子カルテ、論文、特許など）	
	セキュリティ対策	
その他、業務支援	コールセンターで顧客とのやり取りをテキスト化し最適な回答を提案	○ 作業時間の短縮、一人当たりの処理量の向上 ○ 熟練者のノウハウ継承
	文書検索	
	通訳、翻訳	

【出典：総務省「ＩＣＴによるインクルージョンの実現に関する調査研究」を基に作成】

4.5.27（金）

小論文試験①
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.5.27（金）

小論文試験①
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（28×58＝1，624）

4.5.28（土）

受験地	受験番号	氏　　名

幹候２次

小論文試験②

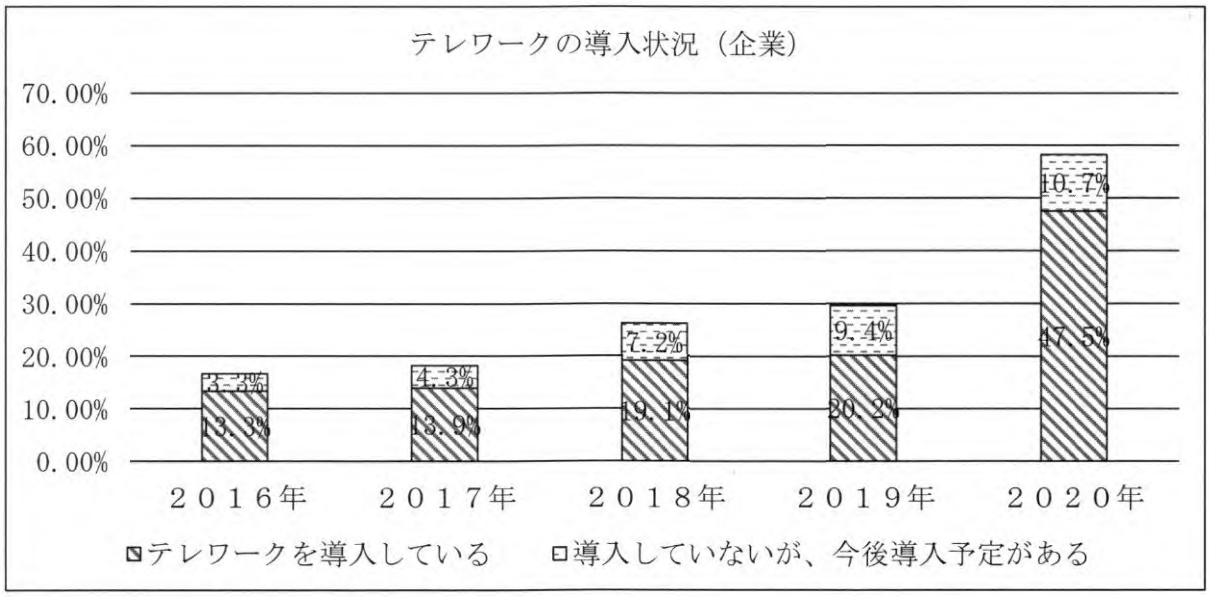
（解答は解答用紙に記載すること）

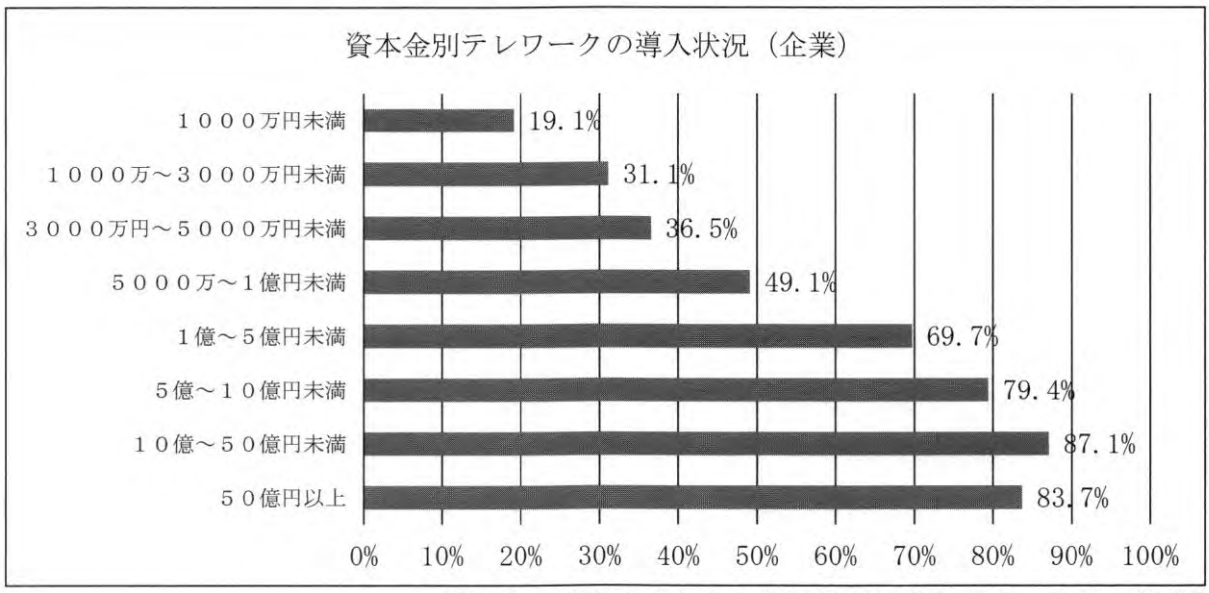
（試験時間 60分）

「テレワーク」について、下記の内容を確認し、テレワークの導入が急激に進むことの問題点と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

テレワークとは、勤労形態の一種で、情報通信技術を活用し、時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態を指すものであり、「tele＝離れた場所」と「work＝働く」を合わせた造語。国内では、２０１９年まで企業の導入状況（導入済み又は導入予定）が３割弱と低調であったが、新型コロナ感染拡大防止を目的に急速に普及が進み、２０２０年には約６割の企業が導入済み又は導入予定の状況となった。

テレワークの導入状況に関して下に示す。





【出典：総務省「令和２年通信利用動向調査」を基に作成】

4.5.28（土）

小論文試験②
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.5.28（土）

小論文試験②
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（28×58＝1，624）

4.5.29（日）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

小論文試験③

（解答は解答用紙に記載すること）

（試験時間 60分）

「宇宙開発」について、下記の内容を確認し、日本が抱える課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

「宇宙開発」とは、ロケットの打ち上げや、宇宙ステーションなどの取り組みのみならず、宇宙空間を人類のために役立てる活動全般が含まれる。通信放送、人工衛星、ロケットの開発や、それに伴う技術も宇宙開発の一部となる。近年では超小型衛星の打ち上げが盛んに行われており、環境保護や地球観測だけにとどまらず、インターネットの高速通信や技術検証などにも利用されている。

現在、宇宙開発は、①人類や文明の発展、②宇宙空間の解明、③地球と地球環境保護の３つを理由に世界的な規模で行われており、国際協力の象徴となっている。

宇宙開発の主たる目的は、宇宙空間を開拓し、地球環境や人類の生活をより良くすることであり、宇宙空間を研究し、その研究成果として人類の生活に役立てることが目標である。

こういった背景を踏まえ、日本政府は、２０２０年６月に、「宇宙基本計画」を５年ぶりに改定、組織やプロジェクトの効率化を図り、プロジェクトの優先順位を明確にすることで合理的な宇宙開発を目指しているところである。

下表は、「宇宙基本計画」に示す、４つの柱である。

- ○　宇宙安全保障の確保
- ○　災害対策・国土強靭化や地球規模課題の解決への貢献
- ○　宇宙科学・探査による新たな知の創造
- ○　宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現

【出典：内閣府ＨＰ】

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

【出典：図解でわかる時事重要テーマ１００　2022-2023（日経ＨＲ編集部）】

4.5.29（日）

小論文試験③
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.5.29（日）

小論文試験③
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候2次

注：解答は横書きとする。

（用紙2枚以内にまとめること）

（28×58＝1,624）

4.5.30（月）

小論文試験④

（解答は解答用紙に記載すること）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

（試験時間 60分）

「国土強靭化」について、下記の内容を確認し、防災・減災の観点から国土強靭化を進める上で日本が抱える課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

国土強靭化とは、東日本大震災における津波被害をきっかけに国が打ち出した防災対策強化の考え方であり、災害が発生しても社会の被害が致命的にならず、迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた経済社会システムを構築することである。

日本は、自然災害が多く、近年は豪雨災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が出ている。活断層やプレート境界が分布する地震が発生しやすい条件にあり、日本列島の太平洋側を縦断する広範囲での揺れと津波被害が予想される「南海トラフ地震」のような大規模地震の発生確率も高まっており、防災・減災の取り組みが不可欠な状況である。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

【出典：図解でわかる時事重要テーマ１００　2022-2023（日経ＨＲ編集部）】

4.5.30（月）

小論文試験④
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.5.30（月）

小論文試験④
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（28×58＝1,624）

4.5.31（火）

小論文試験⑤

（解答は解答用紙に記載すること）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

（試験時間 60分）

「再生可能エネルギー」について、下記の内容を確認し、日本が抱える課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

再生可能エネルギーとは、太陽光や風力など自然界に存在する非化石エネルギー源の総称であり、原則として枯渇せず繰り返し利用できる性質を有するものである。

代表的な再生可能エネルギーの種類と概要は下表のとおりである。

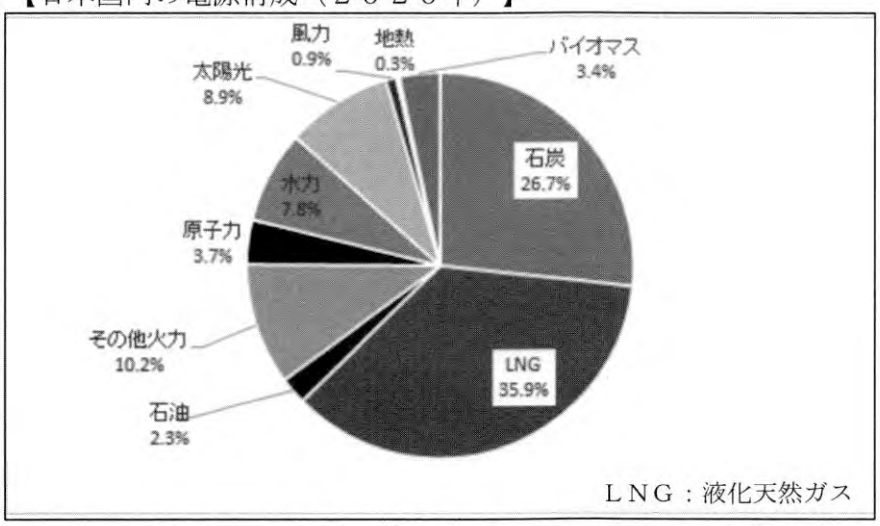
種　類	概　要
太陽光発電	太陽光エネルギーを太陽電池に当てることにより電気に変換する。
風力発電	風車を使って、風のエネルギーを電力に変換する。
水力発電	水の流れや落下の運動エネルギーを電力に変換する。
地熱発電	地下水がマグマの力で加熱されてできた蒸気の力を利用し、発電する。
バイオマス発電	動植物などの生物資源を、「燃焼」や「ガス化」することにより発電する。

【出典：経済産業省資源エネルギー庁ＨＰを参考に作成】

また、期待される次世代エネルギーとして、水素発電、アンモニア発電が存在する。

２０２０年の日本の電源構成における再生エネルギーの比率は約２１％であり、政府は、これを３０年度に３６～３８％まで引き上げることを目標としている。

【日本国内の電源構成（２０２０年）】



【出典：経済産業省資源エネルギー庁ＨＰを参考に作成】

4.5.31（火）

小論文試験⑤
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.5.31（火）

小論文試験⑤
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（28×58＝1，624）

4.6.1（水）

小論文試験⑥

（解答は解答用紙に記載すること）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

（試験時間 60分）

「脱プラスチック」について、下記の内容を確認し、プラスチックごみを減少させるための課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

２０世紀の人類の発展に多大な貢献をしたプラスチックだが、天然素材と異なり土に還らずごみとなる。近年の調査によると、現状で１億５０００万トンのプラスチックごみが海を漂流し、さらに毎年８００万トンが流出していると言われる。２０５０年には海中のプラスチックごみが魚の量を上回ると推定されており、プラスチックごみによる海洋汚染が国際的な問題となっている。

日本におけるプラスチックごみの現状について下図に示す。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

【出典：図解でわかる時事重要テーマ１００　2022-2023（日経ＨＲ編集部）を基に作成】

4.6.1（水）

小論文試験⑥
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.6.1（水）

小論文試験⑥
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（28×58＝1,624）

4.6.2（木）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

小論文試験⑦

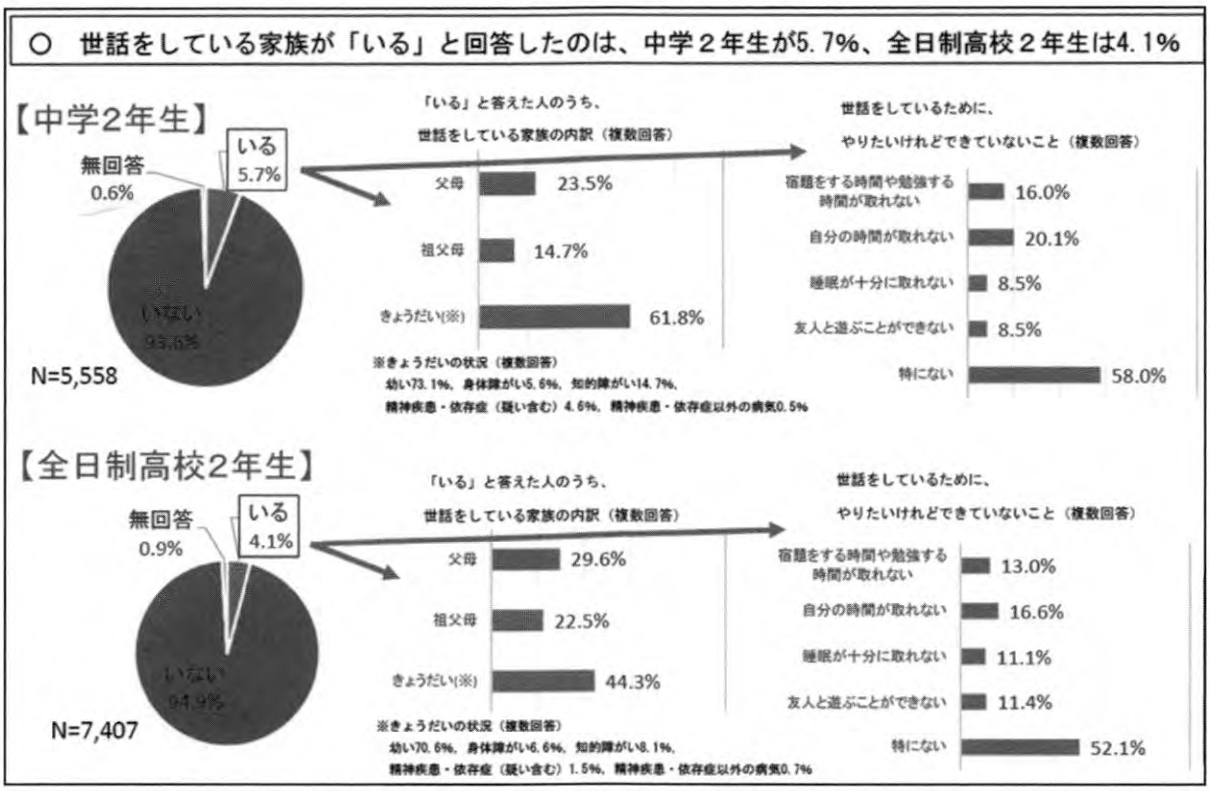
（解答は解答用紙に記載すること）

（試験時間 60分）

「ヤングケアラー」について、下記の内容を確認し、改善のための課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

ヤングケアラーとは、本来、大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に担う１８歳未満の子供を指す。

厚生労働省と文部科学省が２１年４月に公表した実態調査は下図のとおりである。



このうち、自分が「ヤングケアラー」と自覚している子供は約２％程度、「ヤングケアラー」という言葉を聞いた事すらない子供が約８割であった。

彼らが学校や大人たちに助けてほしい事、必要な支援として考えている事項は下表のとおりであり、ともに、「学習のサポート」が最多であった。

	中学２年生	高校２年生
自分の今の状況について話を聞いて欲しい	１２．９％	１６．６％
自由に使える時間が欲しい	１９．４％	１７．９％
進路や就職など将来の相談に乗ってほしい	１６．３％	１７．３％
学校の勉強や受験勉強など学習のサポート	２１．３％	１８．９％

【出典：厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究について」を参考に作成】

4.6.2（木）

小論文試験⑦
（解答用紙 1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.6.2（木）

小論文試験⑦
（解答用紙 2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（28×58＝1，624）

4．6．11（土）

小論文試験（追）

（解答は解答用紙に記載すること）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

（試験時間 60 分）

「コロナ禍による移動制限・自粛」について、下記の内容を確認し、インバウンド消費の回復の観点での課題と解決策についてあなたの考えを述べなさい。

世界中でワクチン接種は進んでいたものの、２０２１年も感染拡大は収まらず、各国で入国規制が続いた。陸、海、空の物流が寸断されたり、都市封鎖（ロックダウン）による生産活動が停滞したり、人や物の移動制限により、ほとんどの産業が影響を受けている。

海外から日本を訪れる外国人観光客によって生み出される国内消費を指す、「インバウンド消費」についても、コロナ禍前後で訪日外客数、旅行消費額ともに激減した状況である。

個人消費では、緊急事態宣言の期間の長期化により、旅行や観劇等への消費が激減した一方で、家電やデジタル機器等の支出が増加。オンライン化の加速を背景に、個人向け電子商取引の市場規模の拡大が見られることとなった。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

【出典：図解でわかる時事重要テーマ１００　2022-2023（日経ＨＲ編集部）】

4.6.11（土）

小論文試験（追）
（解答用紙1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4.6.11（土）

小論文試験（追）
（解答用紙2/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２８×５８＝１，６２４）

４．６．１２（日）

小論文試験（追）

（解答は解答用紙に記載すること）

受験地	受験番号	氏　　名

幹候２次

（試験時間 60 分）

「一帯一路とＡＩＩＢ」について、下記の内容を確認し、安全保障上の課題と今後の日本が取るべき方向性についてあなたの考えを述べなさい。

「一帯一路」とは、２０１３年に中国の習近平主席により提唱され、現在も推進している、アジア～ヨーロッパ～アフリカ大陸にまたがる巨大経済圏構想であり、中国を起点としたアジア～中東～アフリカ東岸～ヨーロッパのルートを、「一帯」と呼ばれる陸路と「一路」と呼ばれる「海路」によって結ぶことにより、エリア全体における経済的協力関係を構築するという中国の国家戦略とされる。

「一帯一路」の推進と合わせて設立された「ＡＩＩＢ（アジアインフラ投資銀行）」は、中国が新興国の支援を目的に２０１５年に設立した国際金融機関であり、創設時メンバーはＧ７諸国を含む５７カ国、資本金１千億ドル（約１１兆７０００億円）のうち中国は最大出資国として３０％を出資。２０２１年８月現在の加盟国は１０３ヵ国。日本やアメリカは不透明な融資基準や組織運営を懸念し、参加を見送っている現状であり、主要７カ国で未加盟なのは日米のみの状況である。ＡＩＩＢが支持された背景には、既存の国際金融機関への不満があり、中国の経済規模による積極的な融資を期待する発展途上国が多く加盟し、勢いを増しているとともに、国際経済を動かす新機軸として世界中が注目している。一方で、スリランカが中国から融資を受け建設したハンバントタ港が、借入金の返済に行き詰まりその運営権を９９年間引き渡す事となるといった事案に対する批判も表面化している状況である。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

【出典：中国メディア報道記事を参考に作成】

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

【出典：毎日新聞オンライン】

4．6．12（日）

小論文試験（追）
（解答用紙1/2）

受験地	受験番号	氏名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２枚目に続く）

4．6．12（日）

小論文試験（追）
（解答用紙2/2）

受験地	受験番号	氏　　名

幹候２次

注：解答は横書きとする。

（用紙２枚以内にまとめること）

（２８×５８＝１，６２４）